

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成29年度第1回特別職報酬等審議会
2 開催日時	平成29年12月14日(木)午後2時から
3 開催場所	市役所本庁3階 301会議室
4 会議の概要	1. 河内長野市特別職の報酬等について 事務局から市の財政状況、職員数、人件費の状況、各市の特別職の給料及び議員報酬の改定状況、全国の平均給料月額等を説明の上、審議を行っていただき、第2回会議に向け、建議する内容の方向性までを審議していただいた。
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	1名
7 問い合わせ先	(担当課名) 総合政策部 人事課 給与厚生係 (内線 317)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成29年度特別職報酬等審議会（概要）

第1回会議

日時：平成29年12月14日（木）午後2時00分から午後3時36分まで

場所：301会議室

出席者：委員 9人（全10名中 1名欠席）

事務局 6人（市長 小林部長 宮阪課長 和田課長補佐兼係長 井谷主査
阪井主査）

第2回会議

日時：平成30年1月19日（金）午後1時30分から午後2時40分まで

場所：301会議室

出席者：委員 10人（欠席者なし）

事務局 5人（小林部長、宮阪課長 和田課長補佐兼係長 井谷主査 阪井主査）

●会議の内容

第1回会議では、事務局から「平成29年度特別職報酬等審議会資料」により市の財政状況、職員数、人件費の状況、各市の特別職の給料及び議員報酬の改定状況、全国の平均給料月額等を説明の上、審議を行っていただき、第2回会議に向け、建議する内容の方向性までを審議していただいた。また、教育長の水準が高いことから、第2回までに各市の教育委員会制度の改定状況を調査することとなった。

第2回会議では、各市の教育委員会制度の状況を報告し、教育長の給与を前の水準に戻す案を事務局から提示した。また、第1回会議で出された建議の方向性に基づき、事務局からたたき台として建議書案を当日配付し、その建議書案の内容について加筆・修正などを行い、最終の建議書に取り纏めていただいた。

●各委員からの主な質疑、意見

1. 特別職給料及び議員報酬について

（1）特別職給料

- ・市長が30%減額している中で、副市長、教育長の高さはどうかと思う。一般職が減額している中で副市長、教育長が減額されていないのはいかがなものか。民間であれば一般職が減額していれば役員報酬の減額は当然である。今年度一般職の減額が終了し、歳入の問題、人口減少で収入が減る中、一般職の減額が終了し人件費が増える。そういう中で、副市長、教育長のことは目に引くところである。
- ・本則が平成8年から変わっていない。そこからカットという形で減額している。議員は平成26年4月に少しだけだが本則が変わっている。本則を変えるということはないのか？20年以上も経ち、市の現状も変わっているが、そういう話はでていないのか？
- ・教育委員会制度が新しくなって、河内長野市が先頭をきって、その時に教育長の仕事が増えるし大変だということで副市長に合わせるというものであった。他市も追随するかと思ったらそ

うではなかったということ。逆に羽曳野市は副市長を下げるという方向性をとったので、河内長野市が一番高くなるということになってしまった。周りの状況を見て減額するというのは妥当な判断だと思う。

(2) 議員報酬

- ・議員の報酬について、この審議会で市の状況をみて減額をお願いする建議書を出すはずと同じ金額になっている。府内で市長の退職手当をゼロにしている市と議員報酬を減額している市が重なっている。枚方、門真、柏原、藤井寺市、泉佐野。我々市民活動団体も減額をお願いされ受けざるを得ない状況の中なので、みなさん同じように痛みを分かち合って議員にも減額をお願いしたい。
- ・議員の方はこちらで提案しても減額してくれるかどうか保障がないという状況。大阪府の議員報酬全体が高いというのは過去に何か経緯があるのか？
- ・報酬額が少ない市は兼業で、農家の収入があり議員になっていると少ない額でもよいが、河内長野市は専業なので少ないとなり手がなくて聞いたことがある。なり手がなくて議会が崩壊するような低い額にする必要はないが、もう少し下げてもらってもよいのではないか。
- ・泉佐野市は市長、議員もみなさん継続して下げている。そういうかたちで痛みを分かち合えばよいのでは。
- ・他市に比べて高い云々ではなく、財政難だから払えないということを押して、財政難で市が苦しい、設備の老朽化等があるので、そちらにお金が必要だから議員報酬を下げて欲しいとしては。

2. 特別職の手当について

(1) 退職手当の減額について

- ・退職手当について、教育長が一番上にきている。赤字の市で一番上というのはいかななものか。
- ・退職手当の支給率について一番低いところが13/100、だいたい20/100が多いようなので、28/100というのは突出していると思う。それを22/100に下げるのは妥当だと思う。

●審議結果のまとめ

1. 特別職給料について

今回の審議会においては、市の財政が厳しい状況である中、市長の給料減額については現在の30%減額を引き続き実施するよう、副市長・教育長の給料の減額についても10%の減額措置を継続されるよう、建議することで一致した。

教育長について、給料月額及び退職手当が大阪府内で上位に位置していることから、平成27年4月の改正前の水準に引き下げられるよう、建議する結論となった。

2. 議員報酬について

議員報酬については、府内の他市状況云々ではなく、市の財政が厳しい状況である中、副市長及び教育長の減額の方向性に合せて、本則額から少なくとも10%を目途に減額されることを強く要望するという内容で建議することで一致した。